

日本一の軍事メルマガ「軍事情報」

(詳細は→ <http://www.mag2.com/m/0000049253.html> )

2017年12月28日号に、「中国に勝つ日本の大戦略」の書評が掲載されました。

↓

こんにちは。エンリケです。

北野幸伯さんの最新刊です。

北野さんは20年近くにわたり、米の一極支配体制は終わり、多極化した世界が生まれると指摘されてきました。

そのなかでわが国はいかなる生き筋を歩めばいいのか？を一貫して伝えておられ、必要な日本の自立を強く訴えてきました。

おっしゃる自立とは「むやみやたらな独立」ではなく、現実的な自立への道であり、国際スタンダードの国際情勢判断に基づく日本を守るための策です。

感情論や空想的現実論、空想的平和論とは一線を画した精緻な分析から紡ぎだされた現実論に基づく提言は、わが国ではまずお目にかかれない内容です。

最新作の本著は、

わが国が北京といかに対峙してゆくべきか？を提案する本です。

中共の戦略は、米露韓を巻き込んだ反日統一戦線である。

わが国がなすべきは、米露印韓等と反中共でまとまることである。

と理解しました。

なかでも、安倍首相がこの中共の反日統一戦線戦略を

いかに無力化したか？についての記述(第二章)が非常に面白

いです。極端な話をすれば、この箇所を読むだけでも本著を求める価値があります。

地政学的論点、近現代史の紹介などなど興味深い話を通じ、北野さんならではの分析が興味深く面白く、思わず読みふけり、わかりやすくエキスが吸収できます。

なかでも、米中関係の真実の解説は、多くの人が陥りがちな「極端な米信奉」を修正してくれるものです。おんぶにだっこという姿勢に陥ってはいけない、とあらためて感じさせてくれます。

善悪論から勝敗論への頭の転換が必要だとの指摘も新鮮ですね。

この指摘は政治的視座からのものですが、本著は政治評論なので納得です。現実を動かすのが政治の仕事ですから、わが政治には、プーチンにも北京にも勝っていただかないと困りますからね。

特に大切だなあと思ったのは、

今のわが国には、10～20年単位での対支関係における戦略的忍耐の姿勢が必要だ。

という点です、理由として北野さんは

「近い将来の中共の自滅」

を挙げてらっしゃいます。

戦わずして中共に勝てる状況になりつつある。

挑発は強くなるが、うかつに乗ってはいけない。

との見立てです。

この視座は非常に重要ですね。

それにしても面白い本です。

分かりやすく有機的な文章なので、  
新鮮な形で分析・指摘が身体の中に入ってくる、という点も大きいでしょうが、

常識として持つておかなきゃいけない

「戦略以前の外国の姿」

についてあまりに無防備にすぎる、

という現況下で、

北野さんの本は常にこの点を埋めてくれている、

という面も大きいのではないのでしょうか？

内容が古びない理由の一つでしょう。

年末年始にぜひお読みください。

おすすめします

北野 幸伯

中国に勝つ 日本の大戦略

プーチン流現実主義が日本を救う

<http://amzn.to/2lhZjTx>

エンリケ